



01. 参加した消防団員。
02. 団長答辞。03. 機械器具点検。04. 表彰を受ける団員。05. 小型ポンプ操法を披露。06. 整列し服装点検を受ける。



紀宝町消防出初式 地域防災への決意新たに！！

町と町消防団は1月3日、まなびの郷と鶴殿運動場で出初式を開催し、参加した団員99人が町民の安全と安心を守り抜く決意を新たにしました。

まなびの郷で行われた式典では、長年にわたり消防団員として功績のあった27人が県消防協会長などから表彰されたほか、川上辰哉団長が今年の決意を表明しました。

鶴殿運動場では、通常点検や西田町長らによる服装や機械器具の点検の後、小型ポンプ操法を行い、日ごろの訓練の成果を披露しました。

Town topics

1/3



01



04



03



02

受章者 (敬称略)

◆ 感謝状
逢野 統一、竹内 浩二

◆ 植倉 隆治

◆ 倉本 昌明

◆ 優良章
岡本 祐樹

◆ 向井 浩

◆ 田尾 友児

◆ 紀宝町長表彰
永年勤続功労章 (30年)
浜田 新一

◆ 阪尾 亜新

◆ 尾崎 麻紀

◆ 向井 衣衣

◆ 野地 将永

◆ 優良消防団員章
山田 中

◆ 谷口 友広

◆ 神戸 武規

◆ 永年勤続功労章
植地 増己

◆ 三重県消防協会紀南支会長表彰
増己

◆ 和隆 志子

◆ 志野 実

◆ 感謝状
逢野 統一、竹内 浩二

◆ 烏藤 良太

◆ 岡山 勇人

◆ 北山 直樹

◆ 表彰徽章
伊藤 真人、産屋敷 竜哉

◆ 精勤章
榎本 眞二

◆ 功績章
眞二

◆ 三重県消防協会会長表彰
眞二

防災への備えを伝える

落語と防災トークを開催

町自主防災組織連絡協議会は12月10日、「どいらい面白い落語と楽しくわかる防災トーク」を開催しました。

これは楽しく防災を学んでもらうことを目的として行ったもので、約140人の来場者は和歌山弁おばあちゃん落語で人気の桂枝曾丸さんと和歌山県新宮市在住の熊野家三九郎さんによる落語会を楽しみました。また、2人は扇子を箸に見立てうどんをすすする落語のしぐさを教え、来場者は見よう見まねで挑戦していました。

その後、防災士でもある枝曾丸さんが防災服を着て再登場し、防災への備えを伝えました。地震を想定して危険個所を示した上で、「どこが危険かを想像することが大切。まずは命を守る行動をしてください」と呼びかけていました。

Town topics

12/10



01

01. うどんをすすするしぐさを教わる。02. 枝曾丸さんによる防災トーク。



02



01



02

01. 新しく整備された救急紀宝1号車。02. 水難救助ボートを使用した訓練の様子。

救助・救急活動のさらなる向上に努める

水難救助ボートと救急自動車を更新整備

熊野市消防署紀宝分署は、11月8日に水害対応特殊水難救助救命ボート、12月23日に災害対応特殊救急自動車(救急紀宝1号車)の運用を開始しました。これは、これまで使用していたものが老朽化に伴い、故障修理が増加したことから、安全な活動が行えるよう、更新整備を行ったものです。

水難救助ボートは、簡単な操作で素早く組み立てられる即時性が特長で、以前のボートより軽量で、トップスピードの向上、低振動も実現し、操作性にも優れています。

救急紀宝1号車は、災害出動を想定しており、高度救命・救急処置を行うため、心電図モニターやAED、自動心臓マッサージ器、人工呼吸器など、最新鋭の資機材を搭載しています。

紀宝分署の小田分署長は「今回の更新により、救助・救急活動のさらなる向上に努めていきます」と話していました。

Town topics

11/8・23